

日本学術会議 第三部拡大役員会
(第24期・第1回)
議事要旨

1. 日時

平成29年11月24日(金) 10:00~11:30

2. 場所

日本学術会議6階 6-B会議室

3. 出席者(※スカイプ参加)

第三部役員	大野 英男	部長
	高橋 桂子	幹事
	米田 雅子	幹事※土木工学・建築学委員会委員長兼任

環境学委員会	副委員長	浅見 真理
数理科学委員会	委員長	坪井 俊
物理学委員会	委員長	梶田 隆章
地球惑星科学委員会	委員長	藤井 良一
情報学委員会	副委員長	東野 輝夫
化学委員会	委員長	加藤 昌子
総合工学委員会	委員長	吉村 忍
機械工学委員会	委員長	藤井 孝藏
土木工学・建築学委員会	委員長	米田 雅子
材料工学委員会	委員長	山口 周

事務局 糸川参事官、高橋補佐、柳原、宮本、駒木

4. 配布資料

資料2	第24期第三部夏季部会について
資料3-1	第23期「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会設置提案書
資料3-2	第23期「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会委員名簿
資料4-1	理学・工学系学協会連絡協議会設置趣旨
資料4-2	第23期理学・工学系学協会連絡協議会代表委員リスト
資料4-3	日本学術会議と学協会との連携について
資料5	意思の表出に関する第三部査読ルールについて

- 資料 6 - 1 平成 29 年度第三部旅費執行状況
- 資料 6 - 2 横断的に取り組むべき課題の候補
- 資料 6 - 3 科学者委員会分科会設置提案書（第 257 回幹事会）

参考資料 1 第三部拡大役員会名簿

5. 議事

1) マスタープランについて

マスタープランについて、意見交換が行われた。（資料 6 - 3）

2) 平成 30 年度第三部夏季部会について

大野部長より、次回夏季部会の予定について説明が行われた。（資料 2）

3) 「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会の設置について

大野部長より、「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会について、第 23 期の設置提案書、委員名簿をもとに設置趣旨及び委員構成の説明が行われた。（資料 3 - 1, 2）

また、第 24 期においても、設置目的を現状に合わせて修正の上、前期同様の委員構成（第三部役員、渡辺副会長、各分野別委員会委員長）で、第三部のもとに同分科会を設置することを確認した。

4) 理学・工学系学協会連絡協議会について

米田幹事より、理学工学系学協会連絡協議会についての説明及び前回連絡協議会（平成 29 年 8 月 31 日開催）で出された意見のご紹介があった（資料 4 - 1, 2, 3）

米田幹事からの説明ののち、大野部長より、同協議会については、第 24 期も引き続き、第三部拡大役員会のもとに年 1 ~ 2 回程度開催することを確認された。

その他、同協議会での追加すべき議題について意見交換が行われた。

5) 意思の表出に関する第三部査読ルールについて

事務局より、前期の査読方法について説明が行われた。（資料 5）

事務局からの説明ののち、大野部長より、第 24 期においても、第 23 期の査読方法を踏襲することが確認された。

<参考>第 23 期での査読方法

- ① 三部の査読委員として、各委員会から3名（11委員会×3名＝33名）の査読委員を予め選出。
- ② 提言、報告、記録等の査読案件ごとに、第三部の役員（部長・副部長・幹事）の中から当該提言等に係る「担当役員」を決定。
- ③ 次に、担当役員において、上記①の査読委員の中から、当該案件の査読を担当する「担当査読委員」2名を決定。
- ④ 担当査読委員による査読が終了した後、当該担当役員を中心として三部役員による最終チェックを行うことで、三部の査読とする。

6) その他

○部をまたがって横断的に取り組むべき課題の候補について

「部をまたがって横断的に取り組むべき課題の候補」について、大野部長、高橋幹事より、第三部役員で取り纏めた案の説明が行われた。（資料6－2）

その他、上記について意見交換が行われた。

○各委員会の活動報告など

各委員会より、今期の活動の展望等について報告があった。

○平成29年度第三部旅費執行状況について

今年度の第三部旅費執行状況について、事務局より説明が行われた。（資料6－1）

以上